

科目名	野菜生産学	教員名	おおみち 大道 雅之	開講 コース	作物生産 花 園 芸	2 年次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>野菜は種類、栽培法、作型也多岐にわたっている。また、農業経営の中で、高収益を目指して野菜を導入することが多い。この授業では、様々な品目、品種、作型に対応でき、経営の中で栽培環境と栽培管理に応用できる実践的栽培技術の習得に力をいれた内容である。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 野菜園芸の意義、経営様式の分化、産地形成、生産状況 2. 品種と作型 3. 生長と発育 (1) 種子、茎葉 4. 生長と発育 (2) 地下部 5. 生長と発育 (3) 花成と抽だい 6. 生長と発育 (4) 果菜類の花と果実の発育 7. 生長と発育 (5) 品質 8. 生長と発育 (6) 貯蔵 9. 野菜栽培の実際：営農計画における栽培計画 10. ナス科野菜の栽培 11. ウリ科野菜の栽培 12. パラ科野菜の栽培 13. アブラナ科野菜、根菜類の栽培 14. マメ科、葉物野菜の栽培 15. ユリ科野菜の栽培、病虫害防除と IPM 							
<p>・講義の進め方</p> <p>プリント資料、テキストおよび一般的な板書の説明による授業を行う。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>随時レポート、小テスト、最終レポートにより総合的に成績を評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>野菜栽培に取り組む時、広く一般的な野菜に関する知識が必要になる。基本をきちんと学び、修得し、自分でよりよい経営のできるの農業者等になることを期待している。</p> <p>より多くの情報を手に入れるという意味でも、野菜の実習も受講することをすすめる。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『北海道農業入門（野菜編）』社団法人 北海道農業改良普及協会 参考書：『北海道野菜地図その33』北海道農業協同組合中央会</p>							